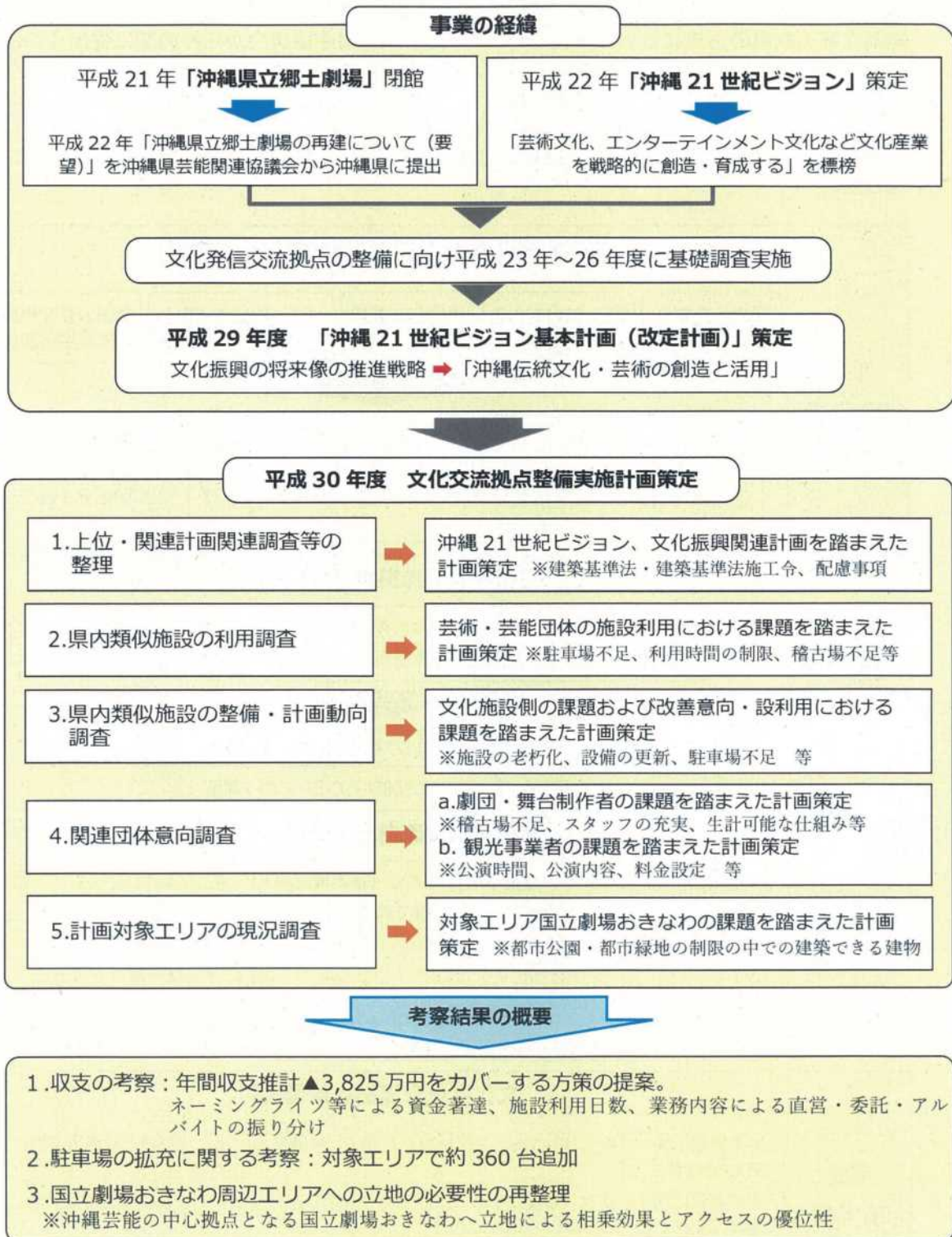


**文化発信交流拠点の充実に関する調査等委託業務
事業報告書**

資料編

平成 30 年度
文化発信交流拠点整備実施計画
報告書概要版

平成 30 年度 文化発信交流拠点整備実施計画報告書概要版・要約

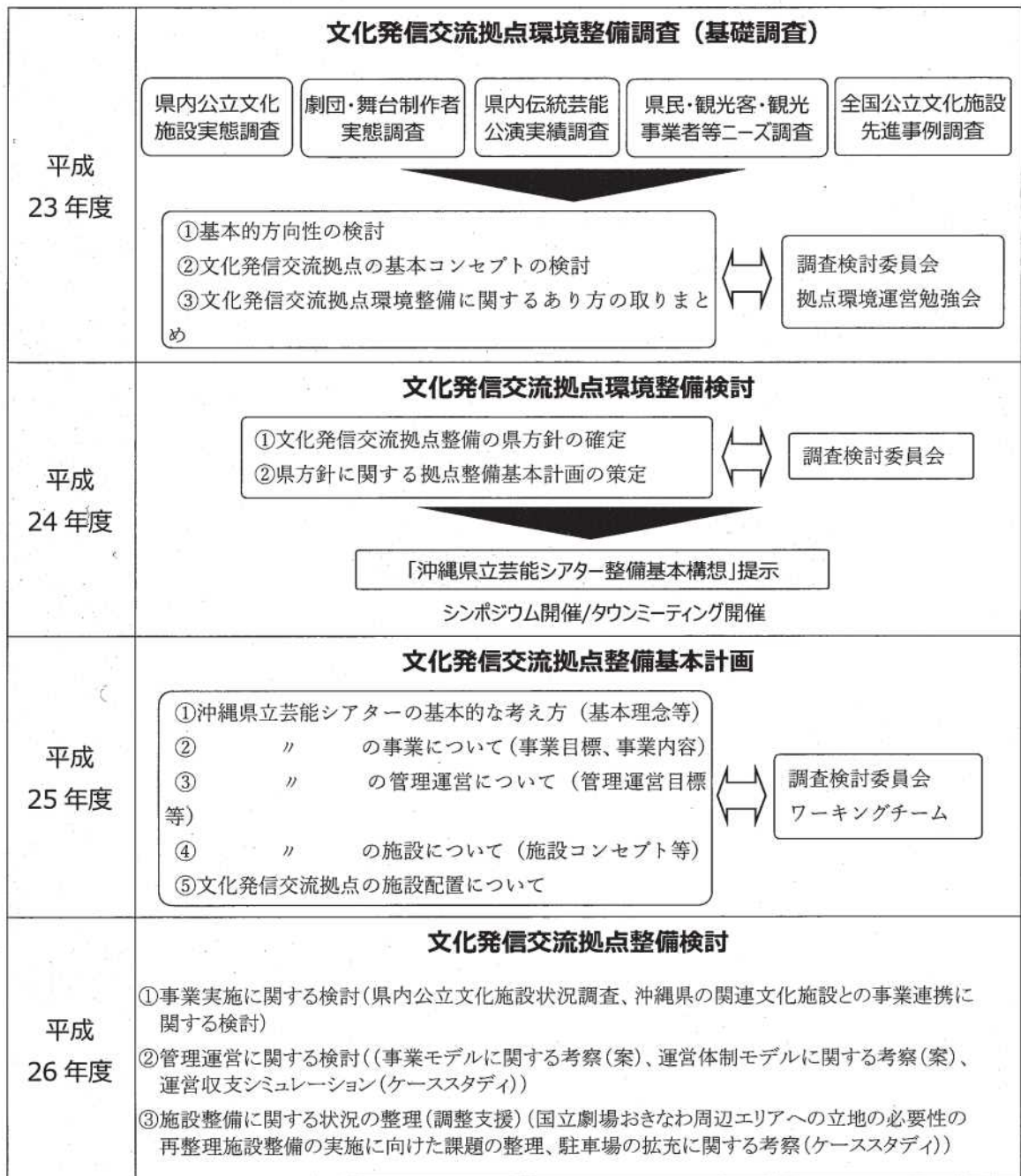


I. 事業の経緯

1. これまでの経緯と基礎調査から文化発信交流拠点整備検討までの概要

県内の舞踊家等の育成、観光の振興に寄与した「沖縄県立郷土劇場」が平成 21 年に閉館したのち、芸能関係者を中心にその機能を代替する拠点整備が要望され、平成 22 年に、「沖縄県立郷土劇場の再建について（要望）」が沖縄県芸能関連協議会から沖縄県に提出された。

一方、平成 22 年 3 月に県が策定した「沖縄 21 世紀ビジョン」で、「沖縄の観光リゾート地としての質の向上、新たな産業と雇用の創出に向けて、芸術文化、エンターテインメント文化、食文化等文化産業を戦略的に創造・育成する」ことを標榜しており、その背景を受け、文化発信交流拠点の整備に向け、平成 23 年度～平成 26 年度まで基礎調査を以下のように実施した。



2. 平成 30 年度 文化交流拠点整備実施計画の策定のフロー

文化交流拠点の整備に向けて、平成 23 年度の基礎調査、平成 24 年度の基本構想、平成 25 年度の基本計画の策定、平成 26 年度の整備検討調査が実施され、これを踏まえ平成 30 年度は文化発信交流拠点整備実施計画（案）の策定を行った。

実施期間 平成 30 年 1 月 31 日～平成 30 年 11 月 30 日

計画策定のフロー

(1) 上位・関連計画、関連調査等の整理	<ul style="list-style-type: none"> ① 過年度計画の概要とりまとめと課題の再分析 ※H23～26 年度報告書の概要整理(芸術・芸能分野の現状と課題) ② 上位・関連法、計画の整理 ※建築基準法・建築基準法施行令等、配慮事項の整理
(2) 関連状況調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 県内類似施設の利用動向調査 ※H23 年度以降の県内芸能・芸術分野における業界・市場の変化の把握 ② 県内類似施設の整備・計画動向調査 ※県内市町村へのアンケート調査の実施 ※類似施設の整備・計画動向の把握 ③ 県内市場の推計 ※上記①②を踏まえた、県内の文化発信交流拠点施設に関する市場動向の把握 ④ 関連団体意向調査 ※県内関連団体へのヒアリング調査の実施 ※必要な機能や規模、その他要求事項の把握
(3) 組踊公園内拠点施設整備に向けた条件分析・整理	<ul style="list-style-type: none"> ① 組踊公園に係る上位・関連計画の整理 ※浦添市総合計画、まちづくり計画等の把握 ※公園の整備・活用方向等把握 ② 都市公園に係る法令の整理 ※都市公園法・都市計画法内容の把握・整理 ※緑の政策大綱等を踏まえた緑化率の算出 ③ 事業関連図書等の収集・整理 ※組踊公園に関する各事業の経緯整理 ※各事業内容の戦略的な整理 ④ 条件・可能性の分析と課題の整理 ※留意点、施設規模・配置等の分析・整理 ※整備に伴う要求事項、周辺影響等の課題整理
(4) 立地条件の分析・評価及び場所の選定	<ul style="list-style-type: none"> ① 計画地の分析 ※(3)を踏まえた評価 ② 比較プランの作成 ※立地の有利性(整備・活用のし易さ)、周辺との整合性確認 ③ 評価及び場所の選定 ※最適な整備場所(案)選定
(5) 実施計画(案)の作成	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設の理念・意義 ② 施設整備の基本方針 ③ 導入機能・規模の設定 ④ 建築計画(平面配置計画・断面計画等)管理運営者の選定に向けての考え方 ⑤ 設備計画(音響・防音・照明・防災等) ⑥ 公園改修を含む外構・植栽計画
(6) 管理運営計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> ① 問題点や課題の整理 ② 管理・運営の基本方針 ③ 管理・運営体制 ④ 利用促進の検討 ⑤ 管理運営者の選定に向けての考え方※主体別に必要・重要な条件・事項の整理
(7) 今後の事業プログラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業計画・スケジュール ② 概算事業費の算出 ③ 実現に向けた課題の整理

3. 平成 30 年度 文化交流拠点整備実施計画の策定に向けた検討事項のまとめ

(1) 基本計画等を踏まえた考察結果の概要

a. 収支の考察

考察結果、収入:89,106 千円 支出:127,360 千円 収入－支出:－38,254 千円
年間▲38,254 千円と推計されるため、収入増加の方策(ネーミングライツ等による資金調達)
等を提案する

【考察のための条件設定】

- ・年間の施設利用日数(24 時間利用可能な施設を想定)
- ・公益性や事業効果を高く確保する業務は、運営事業の直営
- ・専門的・技術的なノウハウを要する業務は外部委託(舞台技術、施設維持管理等)
- ・窓口・事務・接客・ホールスタッフはアルバイトを活用

b. 駐車場の拡充に関する考察

国立劇場おきなわ、結の街を一体的エリア利用で、追加する駐車場約 360 台(約 9,000 m²)

c. 国立劇場おきなわ周辺エリアへの立地の必要性の再整理

【拠点整備に関する必要条件】

- ① アクセスしやすい立地(県民、県外客)
- ② 沖縄県の文化発信交流の象徴となるようなエリアを形成している

【国立劇場おきなわ周辺に施設整備をする必要性】

- ① 沖縄芸能の中心拠点となりうる「国立劇場おきなわ」が立地する
- ② 国立劇場おきなわに近接することで、相乗効果が期待できる

Ⅱ. 上位・関連計画、関連調査等の整理

1. 21世紀ビジョン

沖縄21世紀ビジョン(計画期間2012～2021年度)を平成22年3月策定、平成24年5月に「沖縄21世紀ビジョン基本計画」、平成29年5月「沖縄21世紀ビジョン基本計画(改定計画)」を策定。

文化振興に関して、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島」を将来像として掲げ、実現に向けた推進戦略として、「沖縄伝統文化・芸術の創造と活用」を打ち出している。

沖縄21世紀ビジョンから【沖縄伝統文化・芸術の創造と活用及び展開方向一部抜粋】

文化の継承や新たな文化の創造に向け、地域におけるNPO、文化団体等の取り組みへの支援を行うとともに、県立芸術大学や「国立劇場おきなわ」との連携強化等による人材育成システムの構築や育成機関の充実等を図る。

沖縄21世紀ビジョン基本計画から【一部抜粋】

基本施策 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して

■伝統文化の保全・継承及び文化の創造

沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり、文化の担い手の育成、文化活動を支える基盤の形成、文化の発信・交流

■文化産業の戦略的な創出・育成

文化資源を活用したまちづくり、伝統工芸品を活用した感性型ものづくり産業の振興、文化コンテンツ産業の振興、文化の発信・交流

沖縄21世紀ビジョン基本計画【改定計画】 ※上記内容を踏襲

2. 文化振興関連計画

(1) 沖縄文化プログラムの展開にかかる基本方針を策定(計画期間2017～2020年度)
文化プログラムの展開には「共感」「共鳴」「共働」「共栄」の4つのキーワードで推進。

(2) 公益財団法人沖縄県文化振興会中長期計画(計画期間2015～2121年度)
県が整備する文化発信交流拠点の指定管理に積極的に参画する。

(3) 観光関連計画

第5次沖縄県観光振興基本計画 改定版(計画期間:2012～2021年度)

施策の基本方向として、「多様で魅力ある観光体験の提供」を掲げ、具体的な施策の展開では「沖縄版文化観光の推進」を提示。(下記に一部抜粋)

■文化芸能の観光価値化

ユネスコ無形文化遺産に登録された組踊など多様な文化を活用した観光の推進

■文化芸能の保全と発展へ貢献

観光振興を通じ、沖縄の文化芸能の保全と継承、発展に貢献できる仕組みづくりを検討し、推進する。

3. 県内類似施設の利用調査

(1) 調査の概要

県内類似施設の現状を把握するため、過年度調査結果も踏まえて実態調査を実施。

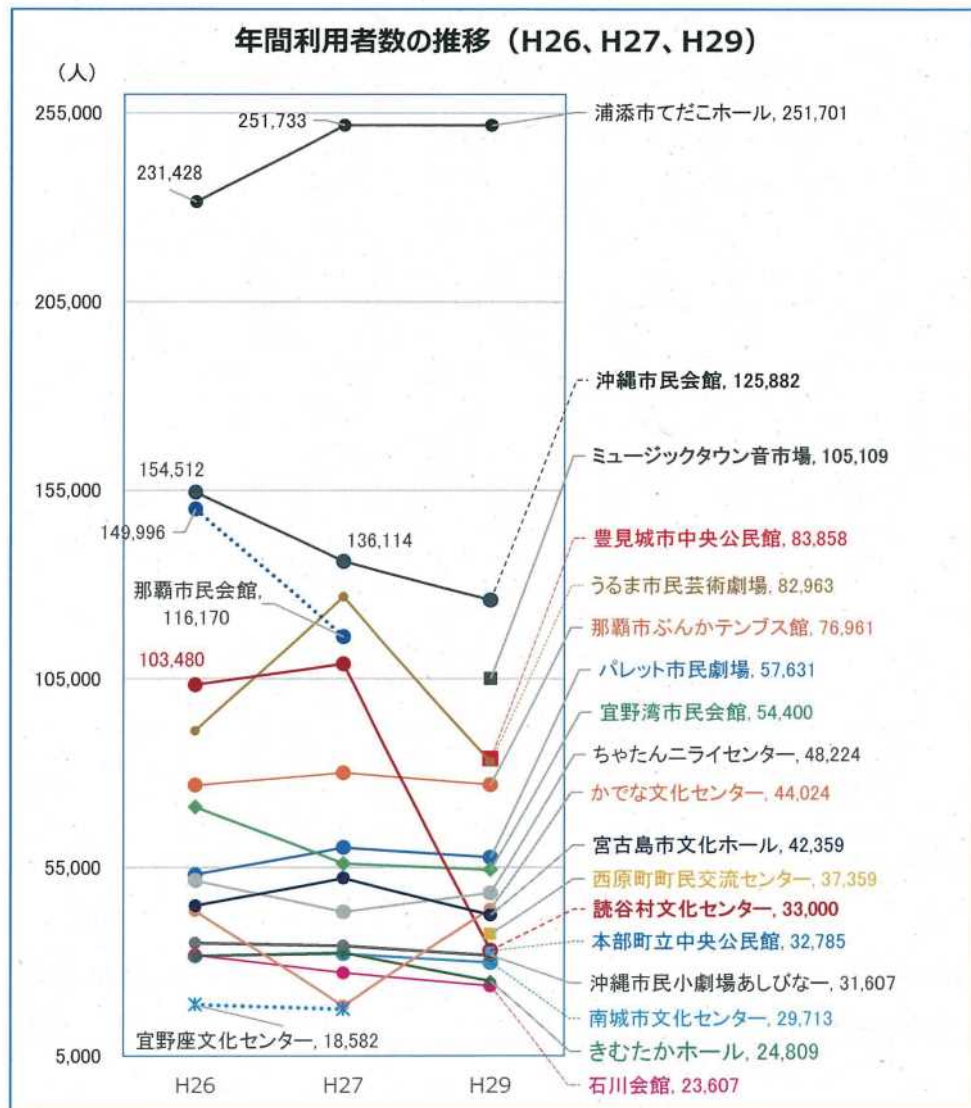
- ① 調査対象: 公共文化施設 38 箇所 ※回収数: 19 件/38 件(回収率: 50%)
- ② 調査方法: 各施設所管部局へ調査票を送付。回答は郵送または WEB で回答
- ③ 調査期間: 平成 30 年 6 月 10 日(配布)～平成 30 年 7 月 13 日(最終回収)

(2) 調査の結果

a. 施設の利用状況について

〔Q1. 施設の年間利用者数〕

平成 29 年の年間利用者数が 10 万人を超えている施設は、浦添市てだこホール の 25.2 万人、
沖縄市民会館 12.6 万人、沖縄市ミュージックタウン音市場: 10.5 万人の 3 施設である。

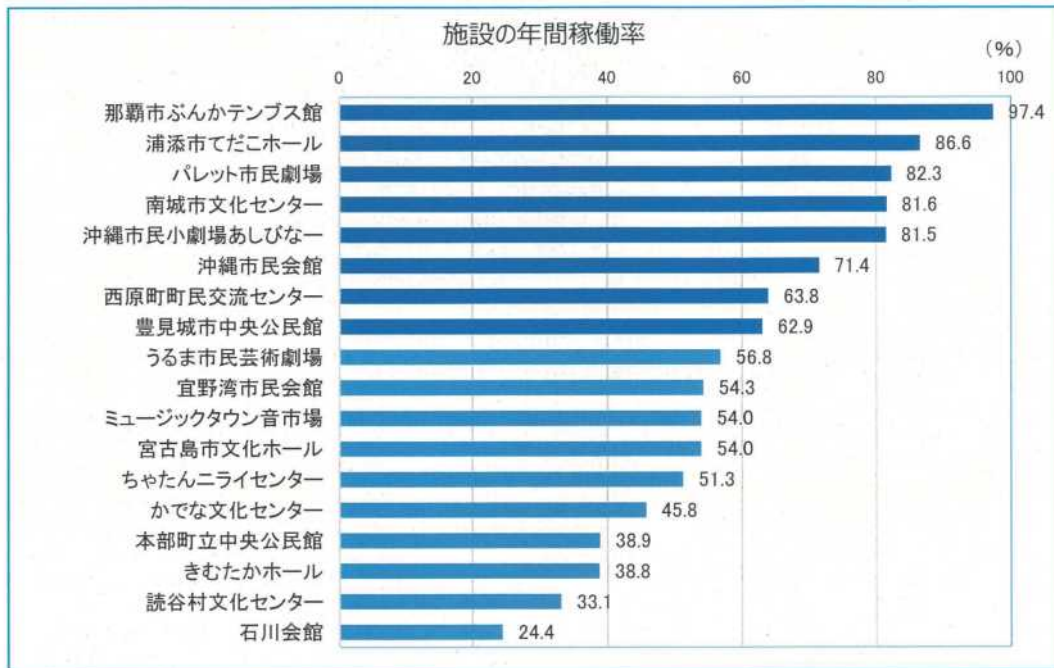


〔Q2. 施設の年間稼働率および自主事業・貸し館の割合〕

施設全体の年間の平均稼働率は、61.3%である。稼働率が最も高いのは、「那覇市ぶんかテンブス館」の97.4%で、最も低いのは、「石川会館」の24.4%である。

稼働率は年間利用可能日数により違いがあり、最も利用可能日数が多い「本部町立中央公民館」は360日で、稼働率は38.9%、最も少ない「宜野湾市民会館」は221日で、54.3%となっている。仮に稼働日数を221日で全施設を計算すると、6施設が稼働率100%を超え、逆に360日で計算すると、10施設が50%を割る。

・施設の自主事業と貸し館の割合をみると、自主事業は2割以下が多く、貸し館の営業が多い。

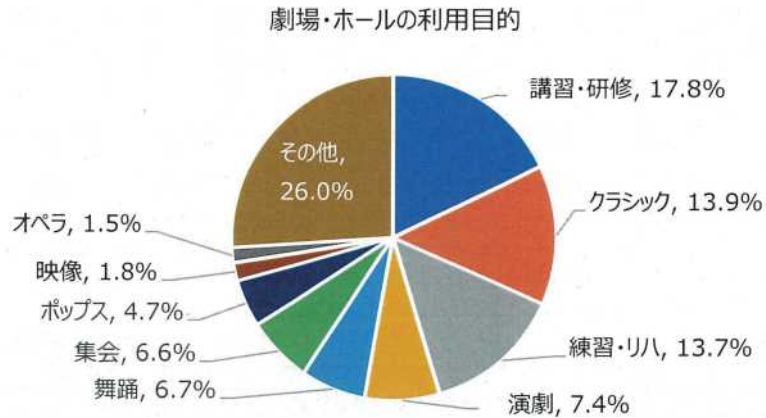


施設別・ホールの自主事業と貸し館の割合

施設名	座席数	利用可能日数	利用日数	稼働率	自主事業	貸し館	その他	
パレット市民劇場	ホール	417	249	205	82.3%	0.0%	100%	0.0%
那覇市文化テンブス館	ホール	250	232	226	97.4%	35.4%	64.6%	0.0%
浦添市てだこホール	大ホール	1,101	312	241	77.2%	5.0%	95.0%	0.0%
	小ホール	282	313	249	79.6%	3.2%	96.8%	0.0%
豊見城市中央公民館	大ホール	786	295	109	36.9%	0.9%	99.0%	0.0%
	小ホール	400	295	262	88.8%	1.9%	98.1%	0.0%
南城市文化センター	ホール	525	309	252	81.6%	18.3%	48.8%	32.9%
宜野湾市民会館	大ホール	1,206	221	120	54.3%	16.7%	83.3%	0.0%
沖縄市民会館	大ホール	1661	267	192	71.9%	9.9%	90.0%	0.0%
	中ホール	300	303	215	71.0%	9.3%	90.7%	0.0%
ミュージックタウン音市場	ホール	489	343	204	59.5%	26.5%	52.0%	21.5%
沖縄市民劇場あしびなー	劇場	290	249	203	81.5%	23.6%	76.4%	0.0%
うるま市民芸術劇場	響ホール	830	258	137	53.1%	-	-	-
	燈ホール	359	258	156	60.5%	-	-	-
石川会館	大ホール	1,017	307	75	24.4%	0.0%	100.0%	0.0%
きむたかホール	大ホール	516	307	119	38.8%	0.0%	100.0%	0.0%
読谷村文化センター	ホール	724	308	102	33.1%	21.6%	77.4%	1.0%
かでな文化センター	ホール	1,082	284	130	45.8%	2.3%	97.7%	0.0%
ちやたんニライセンター	ホール	450	320	229	71.6%	10.9%	89.1%	0.0%
西原町町民交流センター	ホール	505	307	196	63.8%	0.0%	42.3%	57.7%
本部町立中央公民館	大ホール	-	360	90	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%
宮古島市文化ホール	ホール	892	298	161	54.0%	12.4%	87.6%	0.0%
全体平均			6,395	3,873	60.6%	10.5%	83.3%	6.2%

〔Q3. 劇場・ホールの利用目的〕

利用目的別は、「講習・研修」(17.8%)が最も多く、以下「クラシック(13.9%)」、「練習・リハ」(13.7%)の順となっている。「舞踊」に関しては、那覇市ぶんかテンプス館が60件で最も多く、以下、浦添市でだこホールが45件、パレット市民劇場、ちゃたんニライセンター、西原町町民交流センターが各20件と続く。



〔Q4. 劇場・ホールの利用方法で、芸能活動を目的とした割合〕

芸能活動(クラシック、オペラ、ポップス、舞踊、演劇)の利用割合は「うるま市民劇場:70.0%」が最も高く、以下、「パレット市民劇場:65.3%」、「きむたかホール:59.0%」、「ミュージックタウン音市場:55.4%」と続き、芸術特化型の施設利用が高い。



〔Q5. 施設を拠点に活動している芸能団体及びその活動内容〕

右記のように 3 団体以上が活動拠点と
しているのは、「豊見城市中央公民館」をは
じめと団体である。

活動頻度は、うるま市など中部地区で
は、週 1～2 回活用している団体が多い
が、他の地区では年に数回の活動に止まっ
ている団体が多い。

施設を拠点に活動している芸能団体の数



施設を拠点に活動している芸能団体及びその活動内容

施設名	団体名	活動頻度	活動内容
那覇ぶんか テンプス館	尋芸能塾	年数回	「英語/日本語」の字幕付き公演組踊公演を実施。
	楽友協会おきなわ	年数回	クラシック普及を目的に設立された団体。
	俳優協会沖縄	年3回	幅広い年齢層の役者が多数所属し、沖縄芝居の観客層を広げる作品を中心に公演。
豊見城市 中央公民館	三線サークルちゅらさん	月 4 回	週 1 回、三線の練習
	三線サークルむつみ会	月 4 回	週 1 回、三線の練習
	木曜三線会	月 4 回	週 1 回、三線の練習
	琉球かれん 仁和の会	月 4 回	週 1 回、琉球舞踊の練習
	琉球かれん 豊仁の会	月 4 回	週 1 回、琉球舞踊の練習
宜野湾市民会館	宜野湾市文化協会	年数回	舞踊など
	琉球古典音楽野村琉保存会	年 1 回	琉球古典音楽
	琉球民謡協会	年 1 回	琉球民謡
	ぎのわん歌謡友の会	年 1 回	歌謡
	文教楽器株式会社	年 1 回	ピアノ演奏など
ミュージックタウン 音市場	沖縄県ロック協会	年 1 回	6 月 9 日にコンサートを開催
	沖縄ジャズ協会	年 2 回	10 月 22 日、1 月初旬にコンサートを開催
	SNGDAZ	年 6 回	(音楽広場)
	OK-TOWN	年 6 回	(音楽広場)
沖縄市民小劇場 あしびなー	有限会社 FEC オフィス	月 1 回	お笑い公演
	株式会社クランク	月 1 回	映画上映
うるま市民 芸術劇場	うるま市ジュニアオーケストラ	週 2 回	週 2 回練習、年に数回ホールでの発表会
	うるま市 少年少女合唱団	週 1 回	市の自主企画事業公演に参加
	ジャズバンドスピリッツ	週 1 回	市文化祭などに出演
	演劇集団「こかげ」	週 1 回	年 1 回の定期公演
	クリスタルコールうるま	週 1 回	週 1 回の練習、市の文化事業に参加
石川会館	夢の架け橋いひちャーの会	週 2 回	
	劇団石川ひまわりキッズシアター	週 1 回	
きむたかホール	あまわり浪漫の会	週 2 回	
読谷村文化センター	読谷村文化協会	年 2 回	子ども芸能祭。文化祭
かでな文化センター	文化協会	週 3 回	年に 1 回文化祭を開催